

野菜の需給・価格動向レポート(平成29年4月10日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	3月の価格情報			4月 (参考) 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別 平均販売価額 (参考) 保証基準額の算定の基となる平均 価格	3月下旬の関東 及び近畿ブロッ クの入荷量 ()内は、本 年と過去3ヵ年 平均値との比率	主産地	生育及び価格の4月中旬までの見通し		
	上旬	中旬	下旬				「図の見方」		
							現時点の価格水準	今後の価格水準	平均価格
葉茎菜類	キャベツ	96.86 (112%)	108 (117%)	113 (119%)	115	88.59 · 10,756t (118%)	神奈川 (46), 愛知 (36)		神奈川産は、年明け以降の少雨により若干小玉傾向ではあるものの、3月下旬の降雨により回復がみられ、生育は概ね順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、天候に恵まれ生育は順調であるものの、冬作が前進出荷となり切上がりが早まったことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。
		92.10 (113%)	104 (116%)	107 (122%)	112	91.02 · 3,653t (91%)	愛知 (59), 兵庫 (14)		神奈川産の出荷が平年並みと見込まれるもの、愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	たまねぎ	83.77 (121%)	101 (130%)	109 (134%)	112	95.80 · 9,186t (112%)	北海道 (46), 佐賀 (43)		北海道産は、貯蔵物からの計画的な出荷で出荷終盤をむかえ、引き続き平年並みの出荷の見込み。佐賀産は、昨年の天候不順の影響により極早生の草勢が弱いことから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は順調な生育となっている早生の出荷へと移行することから、平年並みの出荷の見込み。
		83.77 (106%)	89 (119%)	100 (129%)	108	95.80 · 3,221t (113%)	北海道 (48), 佐賀 (20), 長崎 (18), 兵 庫 (12)		北海道産及び佐賀の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	252.99 (125%)	315 (122%)	309 (125%)	317	277.31 · 1,756t (104%)	千葉 (48), 埼玉 (23), 茨城 (11), 群 馬 (6)		千葉産は、春作は天候に恵まれ生育は概ね順調であるものの、秋冬作の切上がりが早めであることや稲作の準備作業が始まり収穫作業に専念できなくなることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。埼玉産は、干ばつの影響で土上げ作業ができます、現在平年より少なめの出荷となっているものの、3月下旬の降雨により作業ができたことから、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、天候に恵まれ適度な降雨もあったことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。
		473.04 (115%)	543 (112%)	530 (88%)	416	334.73 · 215t (98%)	徳島 (29), 三重 (24), 奈良 (11), 香 川 (9), 高知 (9)		埼玉産及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	はくさい	64.18 (142%)	91 (171%)	110 (252%)	162	67.05 · 1,433t (83%)	茨城 (87)		茨城産は、春作を中心とした出荷となり、天候に恵まれ生育は順調で肥大も良好であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。
		68.70 (128%)	88 (154%)	106 (185%)	127	74.06 · 1,107t (95%)	長崎 (33), 茨城 (32), 宮崎 (17), 熊 本 (13)		茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	ほうれんそう	338.43 (100%)	340 (135%)	458 (131%)	444	376.10 · 797t (115%)	茨城 (33), 群馬 (29), 埼玉 (17), 千 葉 (11)		茨城産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。群馬産は、3月下旬の天候不順の影響はあるものの、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、2月の干ばつにより生育が遅れていたものの、3月下旬の降雨により生育が回復したことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。
		375.38 (97%)	363 (120%)	452 (111%)	415	416.73 · 347t (109%)	岐阜 (41), 徳島 (20), 福岡 (16)		群馬産及び埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるもの、茨城産が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	レタス (結球)	189.66 (82%)	155 (91%)	172 (90%)	170	156.23 · 3,702t (98%)	茨城 (66), 兵庫 (13)		茨城産は、3月下旬の低温の影響により生育が遅れ気味であることから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は気温の上昇が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。兵庫産は、3月の低温及び干ばつの影響により、現在少なめの出荷となっているものの、今後は気温の上昇や降雨も見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。
		193.43 (82%)	159 (88%)	171 (88%)	171	165.00 · 1,045t (98%)	兵庫 (42), 茨城 (16), 香川 (15), 長 崎 (11), 徳島 (9)		茨城産及び兵庫産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
果菜類	きゅうり	266.63 (102%)	271 (103%)	274 (96%)	257	266.63 · 5,315t (116%)	埼玉 (24), 群馬 (21), 宮崎 (14), 千 葉 (14)		埼玉産は、3月下旬の低温の影響はあるものの、生育は概ね順調で、気温の上昇も見込まれることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、3月下旬の天候不順により生育が遅れ気味であったことから、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、天候回復及び気温上昇に伴い、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産は、天候に恵まれ適度な降雨もあり生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。宮崎産は、気温が高めに推移し、着果も順調であることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。
		254.91 (104%)	266 (104%)	266 (97%)	248	254.91 · 1,648t (115%)	宮崎 (43), 高知 (18), 徳島 (14), 群 馬 (10)		千葉産及び宮崎産の出荷が平年よりやや多め若しくは多めと見込まれ、埼玉産及び群馬産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、平年をやや下回って推移する見込み。
	トマト (大玉)	356.77 (91%)	325 (93%)	333 (92%)	330	356.77 · 4,676t (117%)	熊本 (28), 栃木 (23), 愛知 (11)		熊本産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、やや小玉傾向ではあるものの、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、小玉傾向ではあるものの、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。
		337.87 (99%)	336 (99%)	333 (98%)	332	337.87 · 1,692t (120%)	熊本 (75), 福岡 (8)		熊本産、栃木産及び愛知産において現在の出荷状況が続くと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
	なす	347.77 (120%)	418 (116%)	403 (110%)	383	347.77 · 1,605t (116%)	高知 (51), 福岡 (22)		高知産は、3月下旬の天候不順の影響から現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、天候回復や気温の上昇に伴い、出荷量も回復すると見込まれることから、今後は平年並みの出荷の見込み。
		330.95 (118%)	391 (114%)	378 (109%)	360	330.95 · 709t (121%)	高知 (37), 熊本 (20), 福岡 (17), 大 阪 (14)		高知産及び福岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
	ピーマン	578.80 (85%)	493 (82%)	475 (77%)	444	339.20 · 1367t (126%)	茨城 (56), 宮崎 (19), 高知 (13)		茨城産は、天候に恵まれ生育は順調で、着果も良好であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。宮崎産は、天候に恵まれ気温も上昇し、生育は順調で前進傾向であることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。高知産は、3月下旬の天候不順の影響から現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、天候回復や気温の上昇に伴い、出荷量も回復すると見込まれることから、今後は平年並みの出荷の見込み。
		565.30 (83%)	468 (77%)	437 (70%)	393	311.41 · 539t (121%)	宮崎 (47), 高知 (20), 茨城 (12)		茨城産及び宮崎産の出荷が平年よりやや多め若しくは多めと見込まれ、高知産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
根菜類	だいこん	79.03 (111%)	88 (102%)	81 (103%)	89	56.59 · 6,324t (109%)	千葉 (74), 茨城 (9)		千葉産は、降雨による播種の遅れの影響で現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、生育は順調であることから、今後は平年よりやや多めの見込み。
		80.47 (101%)	81 (106%)	85 (108%)	87	89.53 · 2,465t (145%)	長崎 (45), 鹿児島 (32), 香川 (8)		千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
	にんじん	111.16 (152%)	169 (150%)	167 (146%)	162	156.99 · 3,843t (108%)	徳島 (74), 千葉 (8)		徳島産は、前年の長雨により播種が遅れたものの、年明け以降の天候に恵まれ気温が高めに推移し生育も順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、天候に恵まれ生育は順調で太りが良いことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。
		109.97 (131%)	144 (149%)	164 (148%)	163	148.36 · 1,668t (133%)	徳島 (70), 長崎 (18)		徳島産、千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。

注：1 平均価格は、過去6年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 別々平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 生産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成27年実績である。
 5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聽き取りをもとに機構が作成したもの。

1 主要野菜の生産出荷状況

- ・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	3月の価格情報			4月 (参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	3月下旬の関東 及び近畿ブロックの入荷量 ()内は、本 年と過去3カ年 平均値との比率	主産地	生育及び価格の4月中旬までの見通し	「図の見方」					
	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別 平均販売価額												
	上旬	中旬	下旬										
いも類	さといも	228.85 (102%)	233 (105%)	240 (99%)	227 (99%)	—	—	—					
	ばれいしょ	219.65 (95%)	208 (90%)	198 (82%)	180 (82%)	—	—	—					
		96.99 (217%)	210 (221%)	214 (213%)	207 (213%)	138.39 · 3,620t (96%)	北海道 (49), 鹿児島 (45)	北海道産は、貯蔵物からの計画的な出荷となっており、8月末の台風による大雨の影響などもあることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。鹿児島産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。					
		96.99 (204%)	198 (221%)	214 (210%)	204 (210%)	144.98 · 968t (70%)	鹿児島 (54), 北海道 (40)	鹿児島産の出荷が平年並みと見込まれるもの、北海道産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。					

注：1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動する

2 旬別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿ブロック。

3 単位は1kg、上段は関東、下段は近畿のロゴ。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成27年実績である。

5 フォントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、知事会社等からの購入をもとに機構が作成したもの

5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成

1 主要野菜の生産出荷状況（特定野菜）

種類	(参考) 過去5カ年 平均価格	3月の価格情報			4月 (参考) 過去5カ年 平均価格	3月中旬の東京 及び大阪市場の 入荷量 ()内は、本 年と過去3カ年 平均値との比率	主産地	生育及び価格の4月中旬までの見通し			「図の見方」				
		東京・大阪市場の旬別価格						現時点の価格水準							
		上旬	中旬	下旬				今後の価格水準	平均価格						
洋菜類	ブロッコリー	315.79	245 (78%)	310 (98%)	328 (104%)	425.81	・956t (172%)	埼玉(30), 愛知 (27), 香川(16)		埼玉産は、3月下旬の天候不順の影響はあるものの、生育は概ね順調で気温の上昇も見込まれることから、引き続き平年並みの見込み。愛知産は、4月の低温により生育及び肥大が遅れていることから、現在平年より少なめとなっているものの、今後は気温の上昇に伴い、平年並みの出荷の見込み。香川産は、天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。					
		336.11	277 (82%)	303 (90%)	336 (100%)	447.65	・213t (135%)	徳島(36), 香川 (16), 長崎(14)		埼玉産及び愛知産の出荷が平年並みと見込まれるもの、香川産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在の平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。					
葉茎菜類	こまつな	287.58	237 (82%)	287 (100%)	258 (90%)	311.05	・365t (130%)	茨城(44), 埼玉 (30), 東京(12)		茨城産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、3月下旬の天候不順の影響で現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、気温の上昇に伴い、出荷量も回復することから、今後は平年並みの出荷の見込み。					
		252.78	210 (83%)	205 (81%)	187 (74%)	274.87	・185t (148%)	福岡(79), 茨城(7)		茨城産及び埼玉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、平年並みに推移する見込み。					
根菜類	かぶ	142.27	145 (102%)	157 (110%)	160 (112%)	132.85	・427t (118%)	千葉(88)		千葉産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。					
		158.05	150 (95%)	149 (94%)	185 (117%)	169.59	・17t (91%)	千葉(36), 徳島(36)		千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに近くものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。					

注：1 平均価格は、過去5カ年（平成24～28年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
2 前年度比は、前年度と比較して販売額が増加した割合。前年度と比較して販売額が減少した場合は、前年度比を「-」で示す。

注：1 平均価格は、過去3カ年（平成24～26年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
3 旬別価格の未定及び零の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの。未定及び零の背景は平均価格

3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成27年実績である。

4 王産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成27年実績である。

2 野菜の輸出入動向 — 野菜の輸出入数量と主な生鮮野菜の輸出入について —

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、松岡、海老沼 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 農業需給部 農業需給課 戸田、河原、松岡、海老沼 TEL03-3583-9446、FAX03-3583-9464 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメールマガジンでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当社へお問い合わせください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。

※無断転載禁ず：レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害について、当機構は一切の

※無断転載禁す・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。